

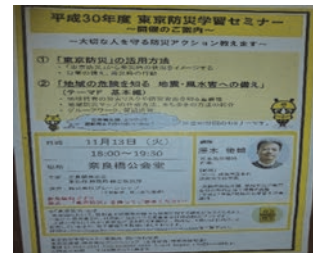
「防災部会」 **H30年度「防災関係の取り組み」について。**

日頃、皆様に於かれましては、ご健勝のことと存じ上げます。
早速ではございますが、標記について、下記により、ご報告させていただきます。
よろしくお願いいたします。

記

◎「各種の行事」について。
○「地域防災学習セミナー」の件。(セミナーへの参加行事)

1. 日 時：平成30年11月13日(火)18時00分～19時30分
2. 場 所：公会堂
3. 主 催：都総務局総合防災部・東大和市役所防災総務部安全課他
4. 講義内容等：Fコース基本編「地域の危険を知る」&「地震・風水害への備え」等。
5. 講 師：澤木 優大輔氏 ・高齢者福祉介護、地域防災が専門。
6. その他：参加者(主催者側・役員 & 会員28名)
 H30年度折衝経緯：上記関連：防災部会として、大変意義ある交流会と考え、H30年度に於いても、計画を検討。
 ・H30.5 都総務局総合防災部防災管理課へ照会も・・・H30年度に於いても、年2回の開催とのこと。
 ・下半期(第2回は、30/7～9/18で受付。)
 ・上記申し込み・・・「抽選決定。」 (別紙資料& 9/1に会員へ回覧を実施)



「講話状況等写真」

(岸会長挨拶)



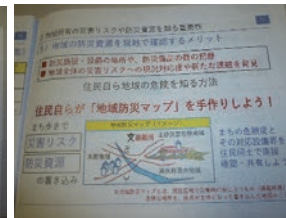
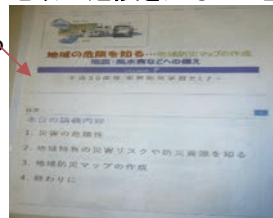
(災害の危険性等：講義)



○「本日の講義内容」 * 地域の危険を知る・・・地震・風水害などへの備え。

1. 災害の危険性。
2. 地域特有の災害リスクや防災資源を知る。
3. 地域防災マップの作成。
4. 質疑応答。

(参加者)



(東大和市浸水予想区域図)

* 地震が起きた場合の被害想定の結果を踏まえて、個々人が備えるべき自助の内容、並びに地域の共助の体制について、日本人の災害観である諦観や自然への順応といった負の態度を破るため、「生活継続防備」という視点を提唱します。

* 我々は直下地震にどう備えるべきか？
・自助と共助と公助の「三位一体対策」が、望ましい。

詳細は、別紙の「東京防災学習セミナー」報告書を参照下さい。
(参加報告：中村副会長によります。)

「参加者28名(役員7名含む) 予定どおり実施！！」

○「東大和市総合防災訓練」への参加。

- 1.実施日時 平成30年9月2日(日)午前9時～正午
- 2.実施場所 東大和市立第三中学校(中庭&体育館内)
- 3.集合場所 **今回は、「自由参加」。**
・避難訓練として、参加者は、第三中学校まで、徒歩で参加。

◎「H30年度は、
残念です、雨天の為中止」

- 4.訓練内容 主に実施する訓練は、以下のとおり。
1)市民参加型訓練(午前9時～11時)
・避難所体験訓練・初期消火訓練・煙体験訓練・救出、救助訓練
・応急救護訓練・災害時伝言ダイヤル訓練・炊き出し訓練等。
2)総合演習(午前11時～11時30分)
・市及び関係機関が実施する演習を見学。
3)各種体験・展示(午前9時～11時30分)
・各機関の車両展示・ミニ防火衣等着用体験
・市備蓄食料&炊出しの試食・
- 5.その他 ~~・多数の方が参加者されました。尚、当自治会は、成瀬副会長他~~ **「雨天で、中止」**
・当日配布の「東大和市総合防災訓練」資料。

6)各訓練等写真

◎主に実施する訓練・・・「市民参加型訓練」。

「雨天で、中止」

(訓練会場&開催挨拶と協力機関の方々及び参加者) (炊出し:自衛隊&市、給水提供)

(避難所体験訓練&体験紙芝居)

(応急救護訓練:AED操作)

(救出・救助訓練・各種の資機材)

(受付・各団体ブース)

◎災害対策の基本は・・・各自身が常に「防災意識を持つ」ことが大切。

- ・「自らの生命は自らが守る」
- ・「自分たちの町は自分たちで守る・助け合い」
- ・「自助」・「共助(相互)」・「公助」の精神といわれています。

○「第一中学校地域合同防災訓練」の件。

- 1.日時 : **H30年11月23日(祝日)** 午前8:30分～午後0時30分
- 2.場所 : 第一中学校庭・体育館
- 3.訓練内容 : 応急救護・避難所設営・備蓄コンテナ見学等(詳細は、「地域合同防災訓練のご案内」によります。)
- 4.参加機関 : 市・第一中学校・北多摩西部消防署・消防団第四分団・地域自治会等。
- 5.各種の訓練(体験)状況。 6.参加人数(中学生等含めて):約200余名&自治会25名。

H29年度 早期に、「市・第一中学校・北多摩西部消防署・消防団第四分団・地域自治会等」へ確認とします。
折衝経緯 H29.9/ 確認に於いて、上記、日時・場所等決定・・・11/1.会員へ周知。

「各訓練状況」



(訓練会場)



(開催挨拶:尾崎市長)



(避難訓練:公会堂～避難場所へ)

2



(初期消火訓練)



(スタンドパイプ放水訓練)



(倒壊家屋救出訓練&各資機材)



(結索訓練)



(救護訓練)



(避難所訓練・体験)





(災害時伝言ダイヤル訓練)



(備蓄コンテナ&各資機材等見学)

◎今回の訓練目的は、地域の方々と「合同防災訓練」を実施することにより、地域防災において「守られる側」から「守る側」として意識を育て、地域の中で共に生きる大切さを学ぶ事を目的に実施。
尚、奈良橋自治会としても、連携の必要性を捉えて毎年参加しております。

「予定どおり実施！！」

○「奈良橋自治会:「自主防災訓練」の件。

1. 日 時 : H30年10月14日(日) 午前10:00分~午前12時00分
2. 場 所 : 奈良橋市民センター3階 集会室
3. 訓練内容 : 出火防止・避難所体験・災害時対応車いす体験&講話等(詳細は、「お知らせ」によります。
4. 協力機関 : 都北多摩西部消防署・消防団第四分団・市(防災安全課) & 社会福祉協議会。
5. その他 : 参加者数43名(市防災安全課・社会福祉協議会等&役員と会員の参加)



(会長挨拶&参加者)



(講話: 出火防止対策等)



(蘇生法&AED操作)



(講話: 車いすの操作&行動等)



(車いすの操作体験...特に、使い方に注意)



講話: 避難所の状況・行動等



(避難所: 体験)

◎災害対策の基本は、各自身が常に「防災意識を持つ」ことが大切。

- ・「自らの生命は自らが守る」
- ・「自分たちの町は自分たちで守る(助け合い)」
- ・「自助」・「共助(相互)」・「公助」の精神といわれています。

H30年度 H30.5/. 岸会長...北多摩西部消防署・市防災安全課等へ伺い。

折衝経緯 会場(奈良橋市民センター)へ、実施手続きの件で訪問。

H30.6/1.受付で、会場(市民センター)へ、申し込み手続き。

*「予定どおり実施」出来ました。...参加者&関係各位の皆様、お疲れ様でした。有難うございました。

○「救命技能認定講習会」の件。

1. 日 時 : H31年2月3日(日)。
2. 場 所 : 奈良橋公会堂。
3. 訓練内容 : 「応急救護(AED)の操作訓練等」。
4. 協 力 : 北多摩西部消防署。
5. その他 : 詳細は、先の回覧「お知らせ」によります。

午前9:30分～午前12時00分

H29年度
折衝経緯

- ・参加者:16名内11名受講。
- ・認定料20名×1,400円=計上予算30,000円)
- ・協力先等の都合確認により、上記日程で、実施とする。



* 事故等による犠牲者を最小限に抑えるためには予防することが大事です。万一発生した場合に救急車が到着するまでの救急処置が重要です。
この「救命法」を身につけていただき、イザという時に役立てて頂ければと存じます。

*「予定どおり実施！！」致しました。

○その他

- 主催・協ナ「東大和市防災課・西部消防署」等。
- ・「防災フェスタ2018」。(自主参加！) (参考:南公園に於いて、H30.3.11 9:30～12:30)
- ・「防災フェスタ2019」。(自主参加！) (参考:南公園に於いて、H31.3. 9:30～12:30)

- * 各関係機関(防災)主催の講習会等への参加。
 - ・今年度は未実施(不参加)。

- * 「防災資器材・備蓄品の購入」を検討。(予算に注意！ ¥10,000円)
 - ・今年度は未購入も、今後継続検討。

* 当自治会に於ける！

- ・資機材は、ヘルメット・懐中電灯(LEDライト)・ラジオ(時計付)・ハントマイク・救助工具等
- ・上記は:東大和市より、「防災資機材等」借用あります。(別添、貸与通知書)
- ・資機材の(配備)経緯。
 - ・今年度は未購入も、今後継続検討。
- ・上記関連として、都度、「備品台帳」に明記の上、維持管理に努めるとする。
- ・現在、「備蓄品」は、ありません。

◎早期に対応(行動)とする、案件。

その1(経緯):「奈良橋自主防災会」の協力員の募集(登録)。

- ・防災活動は、通常の活動と非常時の活動内容に分かれ日頃から災害に備えています。
 - ・参考(H25年度の総会資料:組織図・活動内容を&27年4月、開設のホームページを検索)
 - ・非常時の災害に備えて、対応可能な協力員(登録制)の配置・・・「防災力の強化。」
 - ・上記関連:H29.2/18.の役員会にて、承認・・・2/22会員へ「回覧」にて、協力員の募集を実施(募る)。
- ・協力員人数: 19名の方より、登録戴きました。
 - ・今後、(本部・協力員の役割・情報、伝達方法等の検討)が求められる・・・H30.2月開催予定。
 - *上記関連:H30.2.17.「奈良橋自主防災会協力員合同会議」を開催。
 - ・質疑応答に於いての、確認案件あり。
 - ・H30.2/21.東大和市防災安全課等他機関へ各案件内容について、照会とした！。(中村副会長) 情報の共有として、協力員へ取りまとめた上報告とする・・・「合同会議」等にて。

* 防災力の強化&防災意識の向上を図る上で、(30年度)に於いても「募集」を実施いたします。

その2:防災マップの作成(更新)。(地域の特性を知る:危険箇所等現場確認)

- ・行政の指導等を得る！
- ・現場確認。
- ・準備:白地図・OPPフィルム・油性ペン等
- ・地図として、・・・既存の住宅地図の活用を！



(消火器・消火栓)



- * H29..2月に各区(1~9区)毎に作成済み。
 - ・本部防災:「エリア&マップ」は、公会堂内に掲出・・・情報の伝達&共有を！

(エリア)

(防災マップ)

- * 上記関連:名称「防災環境マップ」を会員へ(5/1)配布しました。

その3:高齢者(一人暮らし)の会員名簿作成&都度更新。・・・継続を！

- ・万一の災害が発生した時に共助(見守り・声掛け)の必要性。
- ・要安否確認、プライバシーの侵害(保護)に注意する。

奈良橋自治会(区)		高齢者(一人暮らし)名簿			H29年6月1日～現在 (敬称略)	
氏名	性別	年齢	住所	電話番号	備考(生活状況)	

(注)

- ・「個人情報保護法」に考慮のこと！
- ・名簿は、「区長」扱いとする。 * 都度更新とする。(各区毎に作成済み)。

以 上

～安心・安全なまちづくり・心がかようまちづくり～！！